

設計例(北島町老門橋)

老門橋は、板野郡北島町において、鍋川が今切川に合流する地点から上流100m程度の地点に架けられた、橋長22.5m、幅員3.6mの道路橋である。

地域住民にとって重要な生活道路であるが、橋梁前後の道路は直角に屈曲しており、老門橋の幅員も狭いことから乗用車の対向も出来ない状況であった。

本事業はこのような状況を改善し、交通安全および利便性の向上を図ることを目的とした。

現橋を撤去して架け替えることも考えられたが、現橋が上下部工ともに健全であることよりこれを活かし、改良に必要な幅員8.0mに不足する幅のみを新設する計画とした。その結果、事業費を大幅に縮小することが出来た。

施工前

完成後

